

○令和3年2月2日 文教厚生委員会の審査を行いました。

県議会の各委員会では、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っておりますが、今回は、コロナ禍の状況を鑑みて、現地視察に代え、県議会の委員会室に説明者を招き、取組内容について意見聴取する形で行いました。

文教厚生委員会では、今年度のテーマを「障害福祉について」「特別支援教育の推進について」及び「新型コロナウイルス感染症対策について」と定めています。今回は、そのうち「障害福祉について」及び「特別支援教育の推進について」の2テーマについて、意見を聴取しました。

まず、一般社団法人在宅療養ネットワーク（高松市松島町）から、児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護など、障害福祉サービス等事業所「ゆずぽっぷ」における障害福祉への取組についての説明を受けた後、施設利用希望者の受入れ状況や、児童発達支援と保育園の並行通園において留意している点等について質疑を行いました。



次に、香川県立高松養護学校（高松市田村町）から、ICT機器等支援機器の活用や、学校看護師による医療的ケアなど、特別支援教育の推進に向けた取組についての説明を受けた後、スクールバスの利用状況、県内の他の養護学校との違い、ICT機器の活用の効果等について質疑を行いました。

